

第113回経営協議会議事要録

日時 令和4年6月23日（木）13時30分～14時45分

会場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者（委員）

丸茂、赤澤、北島、佐山、飯野の各委員

島田学長、清水理事、中村理事、松川理事、熊田理事、榎本理事、風間理事

（列席者）

市川理事、齋藤監事、八巻監事、黒澤副学長、志村企画部長、石原総務部長、種田財務管理部長、

壬生施設・環境部長、窪田教学支援部長、深澤研究推進部長、野中医学域事務部長、

中村監査課長、望月広報企画課長、石井総務課長、土屋人事課長、仲野財務管理課長、

奥施設企画課長

海老名総務課課長補佐

議事要録確認

第111回（4.5.27開催）及び第112回（メール審議）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

1 就業規則の一部改正（案）について

松川理事から、資料1により、認定看護師、専門看護師及び特定行為研修修了看護師に認定看護師等手当並びに医学部附属病院医療の質・安全管理部及び感染制御部の職員にオンコール手当を支給するため、就業規則の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・国立大学法人山梨大学給与規程（改正）
- ・国立大学法人山梨大学認定看護師等手当支給規則（新設）
- ・国立大学法人山梨大学特殊勤務手当支給規則（改正）

2 令和5年度概算要求（案）について

熊田理事から、資料2により、ミッション実現加速化経費のうち、「教育研究組織改革」については、継続1事業、第4期に認められた継続事業の拡充1事業、新規1事業を要求すること、「基盤的設備等整備」については、各学域等からの設備要求に沿って改定した設備マスタープランに基づいて要求することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 令和3年度自己点検評価及び第3期中期目標期間関係調書（達成状況報告書、業務の実績に関する報告書）（案）について

清水理事から、資料3により、令和3年度年度計画実施状況の自己点検を実施した結果、全ての年度計画において「十分に実施している」となったこと、第3期中期目標期間終了時評価については、全ての中期計画において、所期の目標を達成もしくは上回って達成しており、特筆すべき取組として、大学アライアンスやまなしの取組や新型コロナ対応等を取り上げることにについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、意見等がある場合は、企画課宛に連絡願いたい旨の説明があり、意見等の取りまとめについては執行部に一任することとした。

4 医学部医学科の入学定員（令和5年度）について

清水理事から、資料4より、医学部医学科の入学定員を令和4年度まで暫定的に増員してきたが、暫定措置期間を1年間延長できることとなったことに伴い、文部科学省に延長申請手続きを行うことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

5 国立大学法人山梨大学における卒業生及び修了生等の証明書発行手数料に関する規程の一部改正（案）について

中村理事から、資料5より、本学卒業生及び修了生等を対象とするコンビニエンスストアでの証明書発行サービスを導入することとし、これに伴い、発行手数料を以下のとおり改定するため標記規程の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・和文の証明書 1通につき 300円 → 600円
- ・英文の証明書 1通につき 500円 → 800円
- ・海外に居住する離籍者からの申請を有料化

報告事項

1 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標について

清水理事から、資料6により、第4期中期計画のうち、特に大きな改革となり得る取組である大学間連携、教育研究組織整備及び教学マネジメントに係る評価指標を意欲的な評価指標として申請することについて報告があった。

報告事項2（資料7）については、新型コロナウイルス感染症防止の観点（会議時間短縮）から、説明を省略して各自確認することとし、意見等がある場合は、担当理事等に連絡願うこととした。

2 役員会等の開催状況について（資料7）

懇談事項

1 外部有識者との意見交換実施状況について

島田学長から、机上配付資料1により、外部有識者との意見交換に係る内容要旨について、報告があった。

2 新型コロナウイルス感染症への対応について

島田学長から、机上配付資料2により、本学における令和4年5月以降の対応状況等について、報告があった。

次回会議 令和4年9月22日（木）13時30分から開催することを確認した。

学外委員からの意見等

審議事項

2 令和5年度概算要求（案）について

（北島委員）

インフレーションで物価が上昇した際、翌年度の配分額の見直し等はされるのか。

（熊田理事）

インフレーションによる物価上昇があっても配分額は物価上昇を考慮されない可能性が高い。大幅なインフレーションの場合は、補正予算等で配分がある可能性はある。

3 令和3年度自己点検評価及び第3期中期目標期間関係調書（達成状況報告書、業務の実績に関する報告書）（案）について

（飯野委員）

自己点検評価の実施状況から、意欲的な取組が多く見受けられ、特に高度な研究活動を積極的に行っていることには敬意を表する。

（島田学長）

第4期もしっかりと取組を進めていきたい。

4 医学部医学科の入学定員（令和5年度）について

（飯野委員）

医学部医学科の地域枠で入学した学生は、山梨県内で活躍しているか。

（榎本理事）

地域枠で入学した学生は、山梨県内に残る場合が多く、山梨県内の若手医師の確保に一定の効果が出ているものと考えている。

（島田学長）

本学は地域枠と一般枠をしっかりと区別し、地域枠では山梨県の地域医療に貢献する意欲のある学生を募って養成している。過去には地域枠離脱を申し出る学生もごくわずかいたが、毅然と対応している。

（北島委員）

岐阜県では、岐阜市から離れるほど医師が少なくなっていくので、地域枠の医師を県の職員として採用し、効果的な医師配置を実現するなどの取組が必要と考える。

（島田学長）

山梨県でも岐阜県と同様で、甲府市から離れるほど、医師の数は少なくなっていく。

（榎本理事）

本学と山梨県が共同して、山梨県地域医療支援センターを運営し、医師の偏在の解消に向け対応している。

報告事項

1 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標について

（飯野委員）

地域連携プラットフォームの整備に関連して、山梨県など地方で女性が活躍できるような取組を産業界を巻き込んで実施してほしい。

（島田学長）

地域連携プラットフォームの整備は重要であり、女性の活躍できる社会づくりに向けた教育の実現に向けて取り組んでいきたい。一例として、本年4月に設置した高度生殖補助技術センターは高度な不妊治療を担える胚培養士を養成するセンターである。胚培養士は多くの女性が活躍している職種であるため、このような取組を推進していきたい。